

令和4年12月23日（金）

第12回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和4年12月23日(金) 午前10時00分
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 蒲田 知子
委員 村松 弘康 委員 新山 訓代
委員 中村 通宏
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員
教育総務部長 飯田 秀勝 生涯学習部長 菊地 統
生涯学習部次長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長兼公民館長 小林 裕
総務課長 森田 康宏 学校教育課長 鈴木 伸樹
指導課長兼小中一貫教育推進室長 佐々木祐子
教育相談センター所長補佐 落合 知視 少年センター長 森谷 朋子
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎
鳥の博物館長 木下登志子 図書館長 穂村喜代子
6. 欠席事務局職員 教育相談センター所長 遠藤 美香

午前10時00分開会

○丸教育長 ただいまから令和4年第12回定例教育委員会を開会します。

会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第1、我孫子市教育委員会会議規則第31条の規定により、会議録署名委員を指名します。中村委員にお願いします。

諸 報 告

○丸教育長 日程第2、諸報告を議題とします。事前に配付された事務報告、事務進行予定資料等に補足する説明や追加する事項が1点ありますので、説明します。

まず初めに、湖北中学校で開催した図書館の利用案内、パスワード登録方法と図書館ホームページの使い方の講習について、穂村図書館長お願いします。

○穂村図書館長 図書館では、中学生や高校生をはじめとした図書館の利用者数の減少における対応策として、今回湖北中学校にて図書館の利用案内、パスワード登録方法と図書館ホームページの使い方講習を開催しました。

まず、対応策を考えるにあたり、図書館の利用者数が過去一番多かった平成20年、東日本大震災の翌年で一度も休館することがなかった平成25年、新型コロナが少し収束してきた令和3年の3年を基準に、13歳から18歳までの人口、登録者数、貸出利用者数の推移を確認したところ、人口は大幅に減ってはいませんが、登録者数は半分以下、貸出利用者数は大幅に減っていることが分かりました。

そして、中学生や高校生をはじめとした図書館の利用を促進するため、小中学校の1人1台タブレット端末の利用開始を活用して、授業のひとこまを頂き、昨年度のシステム更新を機に刷新した図書館ホームページを使って、図書館の

紹介を行いました。紹介した図書館ホームページの利用者のメニュー機能とは、図書館利用カードを作って、パスワードの登録をすると、自分の利用者メニューを持てるようになり、貸出しの状況や予約の状況、読書マラソン大会への参加やMy本棚という自分が借りた本や気になる本を記録することができる機能が使えます。また、利用カード番号も表示されるため、利用カードを忘れてしまっても、スマホで利用カード番号を出して貸出しを受けることができ、格段に便利になっています。

生徒達はタブレットの操作に慣れていて、図書館職員の説明もすぐに理解して、友達と教え合いながらグループ学習に取り組んでいました。説明者の声が聞こえづらい、見えにくいなどオンラインならではのトラブルがあり、今後の課題も見つかりましたが、このように中学生に直接アピールできる機会を頂いた湖北中学校には感謝しています。また、今回の説明を録画して、オンラインにて各教室で都合のいいときに見てもらおうなど、今後も市内の中学校に図書館のホームページの紹介を行うことによって、10代の利用の促進を図っていきたいと考えています。

○丸教育長 ありがとうございます。それでは、報告に対して質問等がありましたら、お願いします。

今回は湖北中学校で開催しましたが、他の中学校にもぜひ広めて子ども達に読書を推進していきたいと思っています。——よろしいですか。

それでは、ほかの事務報告について質疑があれば挙手をお願いします。

○蒲田委員 16ページの6、古民家ヨガについて、初めての試みとして開催し、反響が大きく午前みの開催予定から午後も追加して開催したとお聞きしましたが、どの辺りからの参加者が多かったのでしょうか。また、今後開催する予定があるのかを2点お聞きしたいです。

○辻文化・スポーツ課長 参加者は、近所の方から車で来られた方など様々な

方が参加しました。当初午前中のみでの予定でしたが、申し込み人数が多かったため、午後も開催しました。人工的な明かりではなく手賀沼の方から差し込む自然な明かりと、ちょっと小暗い古民家で落ち着いてヨガができ、非常にいい雰囲気だったという反応がありました。終了後は旧井上家住宅の母屋の説明や井上家の成り立ちなどの説明も学芸員からあり、体を動かすだけでなく文化や歴史にも触れることができた大変好評で、「またぜひやってほしい」、「また参加したい」という声が多かったので、2月頃にまた開催できたらいいなと考えています。

○蒲田委員 ありがとうございます。ヨガをきっかけに旧井上家住宅を見ることによって、応援しようと思っただけの市民の方々が増えていくといいなと思っています。よろしくをお願いします。

○丸教育長 ありがとうございました。

ほかの事務報告について質疑等があれば、お願いいたします。

事務報告の3ページ、給食調理業務委託の事業者第一次選定委員会について、新規の事業者を発掘するための工夫や、実際に新規の事業者が手を挙げたのか報告をお願いします。

○鈴木学校教育課長 給食調理業務委託の事業者第一次選定委員会について、選定方法は、子ども達の安全が第一として、競争入札ではなく事業者に提案していただくプロポーザル方式で決定していますが、選定を行っている中でどうしても新規事業者がいないため、本当に競争の原理が働いているのかという意見も議会等でいただいている状況です。そこで、担当内で今年できる工夫として、従来30社に配布していた事業者への案内を関東一円に広げ60社に配布しました。そうしたところ、今年度新たに新規の事業者1社から手を挙げていただき、12月9日に一次選考を行いました。

二次選考についても12月21日に終了しましたので、また結果がまとまり

ましたら、定例教育委員会にて報告します。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。30社から60社に案内を広げた結果、新規の事業者1社が手を挙げたことは、努力の甲斐が実ったということだと思います。ありがとうございます。

ほかの事務報告について質疑等はございますか。

では、7ページの2、第4回教育支援委員会について、実際に審議を行った児童生徒数と今年度審議した児童生徒数は例年に比べて多いのか少ないのか報告をお願いします。

○落合教育相談センター所長補佐 令和4年度第4回教育支援委員会の審議児童生徒数は、小学校が105名、中学校が62名の計167名です。去年と比較して小学校はあまり変わりませんが、中学校は増えているため、総数では若干増えています。増えた理由については、我孫子市では特別支援教育に対して丁寧に対応している結果として増加したと考えています。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。児童生徒数は今年200人から250人程度減っていますが、教育支援委員会で審議の対象となる児童生徒数は増加している現状です。ほかにごございますか。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

次に、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いします。

○村松委員 小中学校で1人1台タブレット端末の利用が始まって2年近くたちましたが、その後、タブレット自体の破損や紛失、使用上のトラブル等はありませんでしたか。

○佐々木指導課長 現在は、タブレット端末を授業の中で活用して、順調に活

用率は上がってきています。子ども達や教員もタブレットの運用に慣れてきたこともあり、最初にタブレット端末の運用を開始した際は破損の大きなものから小さなものまで報告が多くありましたが、今年に入ってから50台程度の報告と少し減ってきています。

○村松委員 タブレット端末を授業で活用するようになって、生徒達から分かりやすくなったという意見や変わった使い方をするようになったという報告はありますか。

○佐々木指導課長 一例として、授業では、グループで話し合いを行うときに自分の考えをグループ内で共有するのにタブレットを効果的に活用できるようになりました。子ども達のそれぞれの考えを可視化できることで、子ども達が多様な考えに触れることができ、自分自身の考えを深めることができたというところが大きく変わった点だと思います。

また、教務主任研修会やICT担当の研修会で各校の様々な使い方を情報共有し、より効果的な活用ができるよう努めています。

○村松委員 ありがとうございます。

○丸教育長 教員のICTの活用能力は、今後絶対に必要なものになってくると思いますので、教員の研修も含めて今後推進していきたいと思います。

ほかにございましたら、お願いします。

○蒲田委員 部活動の外部委託について、最近ではニュースで取り上げられることも多く、近隣市では、来年度から中学校の部活動は外部委託になることに伴う費用についての案内を出しているとお聞きしました。我孫子市では、現在、学校の規模や地域の状況を踏まえて検討している段階だと思いますが、保護者の方々へどのように伝えていくのか教えていただけますでしょうか。

○佐々木指導課長 お答えいたします。現在、我孫子市ではスポーツ庁や文化庁から打ち出される方向性を注視しながら、今後の部活動をどのように取り組

んでいくのか、生涯学習部も含めて教育委員会全体で話し合っています。

現在は、中学校の部活動が盛んに行われていますが、今後子ども達が減っていくに伴い教員も減り、今の部活動が保てなくなる可能性があります。まずは実態を把握するために学校へアンケートを実施しました。また、話し合いを行う中で、来年度については、子ども達が減ってしまい部活が存続できない状況のときに、例えば学校の実態に応じて合同で部活ができないか、場所はどうかなどの出た案について一つ一つ調査した後に2月に話し合う予定です。

子ども達の状態や状況を注視しながら、できるところから進めていきたいと思っています。保護者や子ども達が不安を抱いたり、困ったりしないよう丁寧に連絡をして進めていきたいと考えています。

○蒲田委員 ありがとうございます。部活動の地域移行は保護者の方々や子ども達も不安になることがあると思います。これから中学校に上がる子ども達の希望を大事にしていきたいと思いますので、今後もよろしくお願いします。

○丸教育長 ほかにございますか。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

○丸教育長 以上で令和4年第12回定例教育委員会を終了します。今年一年、お疲れさまでした。

午前10時22分閉会